

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: [office@matsue-rotary.jp](mailto:office@matsue-rotary.jp)

## 第3209回例会(平成30年6月13日・水)

### 今週のプログラム

6月13日(水) ゲストスピーチ  
「新しい観光列車『あめつち』」  
西日本旅客鉄道嵯峨米子支社 山陰地域振興本部  
課長 木内吾平氏

### 次週のプログラム

6月20日(水) 会員スピーチ  
「今年度活動報告」  
理事・委員長

### 結婚月

杉原 有会員 5日 廣江 潤会員 5日  
紀野 典彦会員 5月30日



本日のエレクトーン 糸川恵美子 さん

### 2018年(平成30年)6月の予定

6月13日(水) 「高校生茶道交流会」実行委員会  
(第2回)  
松の間 例会終了後～15時(予定)  
6月20日(水) 最終夜間例会  
6月27日(水) 休会

### 例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
6月15日(金)	米 子	ANAクラウンプラザホテル米子
6月18日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
6月19日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
6月20日(水)	大 社	出雲商工会(大社町芹南1344)
6月21日(木)	平 田	ホテルほり江
6月21日(木)	松 江 東	ホテル一畑
6月22日(金)	出 雲 南	出雲ロイヤルホテル内事務局
6月25日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
6月26日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
6月28日(木)	松 江 東	ホテル一畑

## 第3208回例会記録

平成30年6月6日(水・雨)

会員数 66名  
出席者数 47名  
欠席者数 19名  
出席率 81.03%(出席免除会員含む)  
前々回補正 91.53%(出席免除会員含む)

ビジター なし

メーカーシップ 今井(平田)、藤本、堀江、榎井(松江南)、波多野(松江東)、古瀬(松江しんじ湖)、上定、紀野、小林淳、原田、大山(新旧クラブ協議会)

## 会務報告

伊原会長

本日は会員スピーチ

原守中法律事務所 所長 原 守中会員

森岡幹事

本日ガバナー月信6月号配付。

本日例会終了後、定例理事会開催。

## 委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 大山会員  
出席報告

## スピーチ

「松江藩の財政改革」

原守中法律事務所 所長 原 守中氏

## ココロ箱

43,000円

原(拙いスピーチにおつき合い頂きありがとうございます。)

伊原、乾、内海、加島、勝谷、川上、紀野、信太、杉原秀、谷口正、永通、中村、西村、福田、舟越、堀江、森岡、矢野(原守中会員のスピーチに期待して。)

加島(出席100%賞にお茶をお使いいただきありがとうございます。)

勝谷、永通、川上(出席100%賞)

佐藤尚、森岡、勝部治、勝谷、原(誕生日)

杉原有(入会月)

ベストメッセージ賞：該当なし

司会 原田会場監督

6月理事会報告

・退会承認、入会承認、入会推薦受付の件

ひとこと  
随想

## 植樹



もり おか たか ゆき  
森 岡 隆 行

植樹への参加は初めてでした。

とてもいいことだと思い、喜んで県や市の担当部門をまわりましたが、難しさを知りました。ロータリーが求めたのは会員1人1本で計70本の植樹。場所もさることながらその後の管理が大変です。県立図書館も訪ねましたが、建物デザインの問題もあるとのこと。

市街地に木を植えるのは難しいですね。そこで苗木の植樹に切り替えて、松江市森林組合より二先を紹介頂きました。田和山と茶臼山です。ここでは地域の方が山を育てる活動がされているので今年の植樹に参加させて頂くことができました。

結果のご報告です。

(第1回目)

日時：2017年12月9日(土)

13時30分から16時まで

場所：松江市田和山遺跡公園「自然学習の森ゾーン」

樹木：アスナロの苗木50本(松江ロータリークラブ寄贈)

参加者：松江ロータリークラブ会員、里山を育てる会会員、乃木小学校4年生の親子、乃木公民館その他

概要：当クラブの会員と地域のボランティア、児童との共同作業による植樹。地域の方と協調し、里山とその周辺環境の向上を図る。

(第2回目)

日時：2018年3月6日(火)

13時00分から15時まで

場所：松江市茶臼山

樹木：ソメイヨシノ、ヤブツバキの苗木各10本ずつ(松江ロータリークラブ寄贈)

参加者：松江ロータリークラブ会員、大庭公民館環境美化部

概要：当クラブの会員と地元公民館との共同作業による植樹。里山を豊かな森へと育む活動。

始めると結構大変だということに気がつきます。山の土は固い！重い！参加頂いた会員の皆様、お世話になりました。お体は大丈夫だったでしょうか。

自分は桜の苗木を選んで植えました。肥料を山盛りしておいたので期待できます。

(社会保険労務士)



ひとこと  
随想

## 終活の余徳



いぬい たか あき  
乾 隆 明

『松江市史』編纂に関してお世話になった木村更生氏から「大谷繞石きょうせき」の書画を紹介され、貰っては頂けないかと申し出があった。繞石は大正から昭和初期に活躍した文人で、英文学研究者としては『小泉八雲全集』の翻訳を行い、俳人としても一家を成した人物である。

そこで思い出したが、かつて我々が発刊した『松江余談』という本の中に、繞石の文章を紹介したものがあつた。今は平田RCに移られた大谷厚郎氏によるもので、蒸気船に乗って一畑寺へ参ろうとした小泉八雲夫妻を、繞石が小境まで案内した時の文章である。

その旨を木村氏にお話しして、「私が頂くより、縁者である大谷氏に差し上げられた方が良いと思います」と伝え、大谷氏にも相談した。そして木村氏と大谷夫妻の都合が合う日時を決め、拙宅で

共に繞石の書画を拝見することになった。大谷氏は、八雲会の役員の方が出版された、八雲と繞石に関する新刊本を持参された。しばしの楽しい清談の末、木村氏の熱意に大谷氏も承知され、軸を小脇に抱えて帰って行かれた。

その後すぐに大谷氏から連絡があり、「木村氏を自宅へ招いて御礼をしたいので、乾さんご夫妻も一緒に来宅頂きたい」との由。良い日を選んで三人で湖北線をドライブし、徐々に大谷邸へお邪魔した。町屋サイズの拙宅では床の間に掛けても長過ぎた軸物が、大谷邸の座敷ではピッタリと納まっていた。

大谷氏が過去帳をめくって探した結果、繞石の本名である「正信」が載っており、どのような関係かは不明だが、大谷家と血縁関係があるものと思われるという。大谷氏は「故人に良い供養となり、有難うございました」と喜ばれ、木村氏も「一番ゆかりのある良い御宅へ嫁ぐことになり、長年持ち続けた甲斐がありました」と喜ばれ、「終活の余徳」はめでたしめでたしとなった次第であります。

(歴史研究)